

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2025年1月号(第188号)

発行責任者 松尾 基昭



狭山湖展望デッキからの富士山

撮影 梅津 博紀

🌀 新年あけましておめでとうございます

広報部長 横山 芳江

2024年は、能登半島地震に始まり、前年と同じように猛暑日から連続真夏日、記録的な短時間豪雨など、各地で様々な異常気象、自然災害の発生が続き、所沢市内においても、ご苦労なされた方々もいらしたかと思えます。

さて、18期もスタートし、初めての新年を迎えました。スローガンは松尾会長の当期活動基本方針「持続可能な仕組みづくりに向けて第2章」に基づき、昨年以上に充実した内容になるように、各事業部、総務部、広報部及び理事会メンバーも一層努力してまいります。

当倶楽部は主に所沢市民大学修了者による会という特徴ある活動の経験者の集まりで構成され、倶楽部広報誌「広場」を通して発信する情報や資料などの活動報告が、現在の倶楽部会員の皆様のみならず、市民大学受講生にも、市民大学修了後の皆様などへも広く伝わり、人生の生きがいの一つとして活かされればと期待しています。ところざわ倶楽部に入って、新しい楽しみに、興味を持ち、実際に身をもって体験し、健康に留意しながら、さらに一步踏み出してみたいはいかがでしょうか。

ところざわ倶楽部では、皆様が楽しく参加できるように事業部他、皆様のご意見等参考にして、楽しく参加できるようなイベント、質の高い広報をこれからも実施してまいります。

本年も各企画へのご参加、ご協力をお願い申し上げるとともに、新春にあたり会員皆様方のご発展を心より祈念致します。

野老澤の文化遺産探訪と自分探し

野老澤の歴史をたのしむ会 吉住 俊彦

◆ ダ埼玉？ 野老澤のイメージを辿る

「武蔵野は 月の入るべき峰もなし 尾花が末にかゝる白雲」(続古今和歌集/源通方)と詠まれた武蔵野台地中央の野老澤。古来、見渡す限り芒の草叢が広がっていたイメージが強く、ダ埼玉と揶揄された『翔んで埼玉』の作中で舞台となった所沢。都心への交通アクセスが良く東京のベッドタウンとして寝食生活が優先し、名所旧跡も思い浮かばないダ埼玉・所沢。

◆ 自分探し第1章！ 所沢市民大学受講生

「むさし野に らちなく老いし 柳かな」(野遊亭里恵女)の句に触発され、老境の自分探しの第一歩が始まりました。それは、所沢市民大学受講生募集の一枚のチラシでした。

半世紀振りの学生気分、集合講座でアクティブシニアと出会い、新たな交流と友情を育む絶好の機会となりました。高齢者のステイ・ホームやロコモに起因する孤独・焦躁・疎外感からパッと解放され、長年の固定観念でサビついた頭脳にグリスアップ効果がありました。

◆ はて①？ 郷土愛を育む仕掛けを考えよう！

グループ自主活動の一環でサントリービール武蔵野工場見学時に下車した JR 分倍河原駅前、ロータリーに刀を振り上げた勇壮果敢な騎馬像「新田義貞公之像」がありました。

府中市は、「史実を通して市民の郷土史への理解を深めると共に後世に伝えるため、日本の中世史上重要な意義を持つ分倍河原合戦ゆかりのモニュメントを制作し、この地に設置する」と記しています。新田軍は小手指ヶ原の戦い、分倍河原の戦いで北条方を撃破し鎌倉へ攻め込み、激戦の末に140年余の鎌倉幕府を滅亡させました。

所沢には、新田義貞に関連して小手指ヶ原古戦場、勢揃橋、誓詞橋、白旗塚などの合戦の史跡があり、小手指駅前ロータリーにモニュメントがあれば、身近に郷土愛が育まれることでしょう。市内の鉄道駅毎にゆかりのモニュメント、夢想するだけでも楽しくなります。



市民大学 30期所沢地域史グループ

◆ はて②？ 所沢市に博物館がない不思議

30期「所沢地域史」8人グループは、渡辺隆喜先生(明治大学名誉教授)を講師に活動をスタートしました。

まずは「百聞は一見に如かず」、コンシェルジュ・ガイドツアーなどで旧町や航空公園等の所沢文化遺産を毎月巡り、近在の歴史・民俗博物館見学や図書館での歴史資料を必死に探索する中で郷土史探訪の楽しさと郷土愛の芽生えを実感しました。

所沢では、中富・柳瀬・山口地区の民俗資料館、埋蔵文化財調査センター、文化財保護課で生活用具・農具・織物器具・出土遺物などが分散保管展示されています。ところが、見学した近隣市の人間市博物館・狭山市立博物館・川越市立博物館・東村山ふるさと館の何れも立派な博物館であり、埼玉県第3位の人口34万人の所沢市に無いのが不思議でさえあります。

◆ 自分探し第2章！

ところざわ倶楽部「野老澤の歴史をたのしむ会」への加入は、市民大学OBとなった私には必然のことでした。

いよいよ自分探し第2章の始まりです。所沢をこよなく愛し、所沢地域史の語り部である先達に交じり、ワクワク楽しい我が人生の監修を図っていきます。

～あの日あの時の私～

アジア研究会 玉上 佳彦

●メキシコ編 ～ 日本へ行くにはバスで何日かかる？ ～



今から 50 年前の古い話だが、バックパッカーとして、メキシコ西部の田舎町を訪れたことがある。中南米放浪の旅の始まりであった。アメリカ国境の Tijuana から長距離バスに乗って約 1 日経ったメキシコの田舎町で、隣の席のおじさんに声をかけられた。

どこから来た？どこへ行く？予定は決まっているのか？と質問され、予定は決まっていないと答えると、では今日は俺の家で宴会をするから泊まっていけといわれ、図々しくも世話になることにした。この街に日本人が来たのは初めてだというので、大歓迎してもらった。彼らにとっては、日本は非常に遠い所だと知って、ここまで飛行機とバスで何時間かかったかと聞かれたので、約 1 日半かかったと答えると、ではバスでは何日間かかるかと聞かれてびっくりした。彼らにとっては、どこにでもバスで行けるものだと思っているようで、地図で日本の位置を説明し、太平洋を越えて、バスで行くことはできないと答えたが、彼らのほとんどは理解できていないようだった。さすがに、現在のメキシコ人は、日本とメキシコの位置関係はわかっているだろうが、50 年前は違っていたのだ。

海で囲まれた日本では考えにくいことだが、陸路で国境を越えて、外国に行くことが当たり前と考えている彼らにとっては、信じがたいのかもしれない。その日の晩は、近所の村人が大勢集まり、初めての日本からの来訪者の私を囲んで、テキーラと地元料理で大変楽しい宴会だった。翌日の別れ際に、帰りにまた寄れといわれて嬉しかった。その時は言わなかったが、実は当時の私はペルーで住みつくつもりだったのである。

●ペルー編（その 1） ～バスの故障は当たり前～

国内の移動は基本的に長距離バスだが、整備状態が悪いため、故障して足止めを食らうことは当たり前。乗客は文句をいわずに、数時間でも 1 日以上でも待たされることは珍しくない。私も、マチュピチュからリマに戻る時に乗ったバスが、アンデス山中の田舎町で故障し、部品調達のために 1 日待たされることがあった。

毎日 1 便しかないため、修理が完了前に、翌日の同時刻に発車したバスが先に通り過ぎていったことがある。日本では考えられないことだが、両車のバスの乗客はお互いになっこり笑って、前日のバスは「運が悪かったね」、翌日のバスは「じゃあお先に」となごやかにやり過ごすのだった。

ペルーだけでなく、南米では、あくせくしてもしょうがない。なるようにしかならない (Hasta mañana) という割り切り方が当たり前なのでしょう。

●ペルー編（その 2） ～カトリックの彼女は？～



チチカカ湖畔からバスで、ボリビア国境を越える予定の日、ボリビア国境の街 Desaguadero で、Feria (祝祭) のため国境が閉鎖されていることが判明。仕方がないので、Puno のボロホテルに、バスで仲良しになったリマ在住の若い女性と宿泊することになり、ウキウキしていた。しかし、彼女は敬虔なカトリック信者で、父親と会って結婚の了解をもらうまでは絶対にダメと言われ、何もさせてもらえず、無宗教の私は、悶々として我慢をせざるを得なかった。ボリビアなどを訪問後に、リマに戻って、会う約束をして国境で別れたが、その後、彼女を尋ねることはしなかった。ちょっと気がとがめることもあったが、まだ、彼女と結婚する気になれなかった。もし、彼女が敬虔なカトリックでなかったら、あの日あの時どうなっていたかな…と思い出すこともあるが、淡い思い出としてとっておきたい。



「所沢の自然と農業」

鈴木 安弘

『子ども食堂』というネーミングが持つシステムは、いつ頃、誰が名付けたか。最初は大阪のおばちゃんが十何年か前に始めたと言われています。確かに、ありそうにも思えますが定かではありません。

私の師匠（82歳女性）が運営する朝霞市の子ども食堂は、埼玉県内2番目の立上げでもまだ9年だそうです。その初めは『子ども食堂』のネーミング自体知られていませんから、駄菓子屋でベビーラーメンにお湯を注いで食べさせる場所程度に誤解されていたようです。

朝ごはんを食べないで学校へ行く子どもを知って心痛めるお婆ちゃんが一人で始めた慈善活動ですが、外目に見えない貧困家庭の多さに驚くばかりだったと話されました。

『子ども食堂』が貧困と結びつき、一般に広く知られるようになったのは、2020年のパンデミックからではないでしょうか。その後、長くコロナ禍に至って、子育て世代の生活苦や貧困による教育格差が取り沙汰されるようになっていました。不図気がつくと、経済優先ばかりで成り立たない社会現象や、少子化に歯止めが掛

からない実態によりやく目覚めたともいえません。それからは政府も地方自治体も、いよいよ子育て支援を喧しく言うようになりました。公的機関が動き出したのはつい先頃（3年前くらい）のことです。この度、衆議院選挙を前にどの政党も「子育て、教育支援など」を、今更ながら公約を掲げておりました。そもそも、こうした制度は国家のする仕事であって、民間のお婆ちゃんがやる仕事ではありません。

日本を牽引するはずだったアベノミクスが、子育てや教育支援といった基本政策をないがしろにしてきたと疑うのは、私だけではないと思います。「経済、経済」と五月蠅く言った後に「あなた達とは違うんです」と格差社会を容認し、白々しく「美しい日本」と、うそぶいた政策でした。仁慈と義務とに重きを置く我が国の歴史の中で、これほど人情に欠けた冷たく不平等な社会があったでしょうか。

小泉八雲は、日本人の慈悲深い美しい「心」を世界に向けて褒め称えました。一体、「美しい日本」という本物の文化はどこへ消えてしまったのでしょうかね。



朝早く自転車で事務所に向かう道すがら、菓子パンを陰でかじって駅に急ぐ女子高生を見ます。偶然にも何度か出会うのですが、そのパンが朝食なのかどうか、私はいつも声を掛けたい衝動にかられます。しかし、そこまでのお節介はできません。まして、そのパンが朝食なのが良く判るからです。

厳しい状況に追い込まれる要因は様々だとしても、一人親家庭やヤングケアラーに限らず生活困窮する当事者は、困窮者に見られまいとすることから中々見つけにくいことがあります。『子ども食堂』という活動を通じて、実際にそうした方から相談を受けたこともあります。残念ながら資格のない運営者では、ある面で力不足を実感して落ち込むだけでした。

ある一人親の高校生から頂いたメールがあります。

「この度、無事卒業することができました。同時に、これまで支援していただいた食糧支援も卒業いたします。ありがとうございました」

これが私たちのご褒美なのでしょう。どこか違和感を覚えます。公的機関がやるべき支援制度と改めて思いました。

しかし、『すずかめ』に集う高齢者ボランティアは、残された人生の時間をじっくりと考えます。健康であれば何かこの社会のためにと考えます。希望は失ってはいません。私達には痛みを分かち合う心があるからです。元気でいられることに感謝しているからです。

環境シリーズ 第43章

COP29 ～ 気候変動枠組み条約締結国際会議について

地球環境に学ぶサークル 河登 一郎

COPとは「Conference of the Parties (締約国会議)」の略称で、国連気候変動枠組条約締約国会議のことを指します。1992年の地球サミットで採択された「気候変動枠組条約」の締約国が、地球温暖化対策について話し合う国際会議です。世界から政府機関や非政府主体が集まり、気候変動対策の新たな目標や取組みを議論する場として年に1回開かれています。

COP29は、2024年11月11日からカスピ海アゼルバイジャンの首都バクーで開催されましたが、先進国側と途上国側による交渉が多く、2日間の延長を経て11月24日に閉幕しました。参加者は主催者発表によると200か国6万人にも及び、各国の政府機関や産業界、NGOからたくさん参加しました。

日本からも環境省ほかほとんどの省庁や関係機関、環境NGO、若者NGOなどが参加しました。

気候資金：

・本大会で最重要課題とされていた開発途上国に向けた「気候変動対策資金の合同数値目標」に関する議論は、先進国(G7・OECD)の拠出額が、途上国側が求めている年間1兆3,000億ドル(約200兆円)とは大きな乖離があって難航し、2035年までに先進国(G7・OECD)が従来の毎年1000億ドルを3000億ドル(約45兆円)に引き上げ拠出することで合意しました。国別の割り当てはこれから決定されます。

・アメリカのトランプ次期大統領がパリ協定から脱退する可能性があるため、先進国に加え、中国や中東諸国にも働きかける必要があるとの認識が一致しました。

温室効果ガス (GHG) 削減目標：

・COP28で合意された化石燃料からの脱却や再エネの3倍化を推進するための具体的な措置については合意に至らず、議論は先送りとなりました。

People's Plenary (人々のための本会議)：

・先住民や被災地域出身者、気候災害被害者などが、涙ながらに悲惨な現状を訴えた際、スタンディング・オベーションが起こりました。



アゼルバイジャン共和国の首都・バクー
(炎をかたどった3つのビル群・フレームタワー)

化石賞：

気候変動対策に消極的な国に「CAN」(世界的NGO気候行動ネットワーク)が贈る不名誉な賞

COP29期間中に、G7(アメリカ・カナダ・フランス・ドイツ・イタリア・イギリス・日本)が化石燃料を使い続けているため、連続して化石賞を受賞しました。

浅尾環境大臣の演説：

浅尾環境大臣は、閣僚級セッション(11月20日)で、ナショナル・ステートメントを行い、1.5°C目標の実現に向けて、NDC(国が決定する貢献)の着実な実施が重要であることを主張しました。

・日本の気候資金への貢献については理解できる点がありましたが、バングラデシュの石炭火力発電所への支援が含まれており、その金利の高さが不評を買っています。

・1.5度目標に対する野心的な発言は評価されましたが、一方で「石炭火力の全廃」「化石燃料からの脱却」「再エネ3倍化」について触れなかった点は残念でした。

・日本パビリオンに11社が出展し、再エネ、省エネ、廃棄物処理システム、ゼロカーボンビル、洪水シミュレーション、CCUS(CO₂回収装置)、衛星観測技術、福島の実状などを展示し、100か国を超える国々の人たちが来場し連日盛況だったようです。

サークル活動報告

黄林閣の整備作業



所沢の自然と農業サークル 岡崎 久子



12月17日(火)は、黄林閣の第129回の作業日。気持ちの良い絶好の作業日より！参加者は18人。久しぶりの2桁の参加です。

(15人を超えるのは今年の2月以来との事。)

山のもみじは紅葉し、青空と見事なコントラストでした。

今日の作業は、①たくさん落ちている落ち葉を掃くこと、②散策路の整備の続きの2つです。人数が多いので、あっという間に掃き清められて、落ち葉を詰めた大きな袋がどんどん増えていきました。(落ち葉は堆肥として活用！)

きれいになった庭を眺めながらの休憩。休憩後は散策路の整備作業。通路の両側に竹の策を設置していきます。先を斜めに切った2本の竹を地面に打ち付け、間に枕になる木を置いて、その上に長い竹を置いて完成。作業の最初に竹の切り方を教わりました。ポイントは自然に生えている時と同じ向きにする事です。今日の作業の結果がハッキリと目に見えるので、遣り甲斐を感じる事ができます。

みんなの広場

「食トコって何？」



食を通して所沢を知る会 矢崎 みどり

食トコって何をするサークルなの？ おいしいものを食べに行くの？ いいえそればかりではありません。

世界の気候変動や戦争に影響を受ける「未来の食」について、書籍やネットから学び、ところざわ倶楽部まつりでの発表に繋げました。

米の値上がりや食料不足など毎日の食は、私たちの命に関わり、無関心ではられません。

食トコは、食に関する諸問題について、自由に意見を交換する場です。興味のある方は一度覗きにいらして下さい。

私達が支援している「フードバンク」への食品提供もよろしくお願いたします。

(所沢には毎日の食事に困っている子供たちや、高齢者が、隠れて数多くいます。)



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

<p>1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>1月22日(水)13:30～16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ：第2次トランプ政権の今後の世界情勢に関する フリーディスカッション&新年会</p> <p>2月19日(水) 13:30～16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ：未定</p>	<p>8. ドラマティック・カンパニー (吉田 紘之 080-3480-7760)</p> <p>1月11日(土)10:00～12:00 新所沢公民館学習室3号 「ヘンリー6世」朗読(続き)</p> <p>1月18日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号 「ヘンリー6世」朗読(続き)</p> <p>2月1日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号 「ヘンリー6世」朗読(続き)</p>
<p>2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)</p> <p>1月7日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室 鑑賞演目 ヴェルディ歌劇「仮面舞踏会」約2時間 レヴァイン指揮、メトロポリタン歌劇場</p> <p>2月3日(月)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室 鑑賞演目 ヴェルディ歌劇「アイダ」2時間15分 バレンボイム指揮、ミラノ・スカラ座、NHK</p>	<p>9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)</p> <p>1月21日(火)10:00～12:30 西新井町会館～映画の後茶話会 喜劇「急行列車」列車シリーズ第一作 渥美清・佐久間良子 季節の歳時記 『疫病退散「まゆ玉飾り」』 日舞も披露</p> <p>2月11日(火) 洋画「ジャイヤンツ」米国の叙事誌的映画 東部と南部の気質の違いが・・・</p>
<p>3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)</p> <p>1月28日(火) 新年会 今年の抱負を話し合う</p> <p>2月25日(火) 三井記念館(日本橋)の雛人形と厚岸食堂の牡蠣</p>	<p>10. 脳活サークル (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>1月27日(月)13:30～ 中央公民館学習室5号にて、皆で正月 気分を楽しみましょう 「百人一首かるた体験会」を開催</p> <p>2月17日(月)予定 中央公民館13:30～予定 「認知症関連講座(案)」とディスコン体験 講師泉志津子氏</p>
<p>4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)</p> <p>気候変動等世の中の種々の環境問題をはじめ、私たちの身の回りの生活環境について、情報を持ち寄り討議します。 時には、見学会も実施します。いつでも自由に参加できます。</p> <p>1月28日(火)9:00～11:30 新所沢東公民館 月例会 1月度の読書会の日程は未定</p>	<p>11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)</p> <p>1月20日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館 研修室1号 テーマ：「総会と今期計画」の報告と自由意見 会計報告、会費等と今期予定ほか</p> <p>2月17日(月) 総会予定ほか ※市政に関心のある方は自由にご参加ください</p>
<p>5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)</p> <p>1月15日(水)13:15～15:00 中央公民館1階 学習室3号 定例会 年間テーマ「これからの地域デビューを考える」 「新年度の抱負を語ろう！」</p> <p><SP/スマイルパイレーツ練習日> 見学・入会大歓迎！</p> <p>1月11日(土)13:30～16:00 中央公民館 3階 学習室6号</p> <p>1月25日(土)13:30～16:00 中央公民館 3階 学習室8・9号</p>	<p>12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)</p> <p>1月9日(木)13:00～16:00 こどもと福祉の未来館ボランティア 活動室1号 1月16日(木)の「お話会」のための読み合わせ会</p> <p>1月17日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館ボランティア活動室1・2号 定例会</p> <p>2月14日(金) 「お話会」新郷団地サロン 10時から予定</p> <p>2月21日(金)10:00～13:00 定例会</p>
<p>6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)</p> <p>1月9日(木)14:00～16:30 新所沢公民館3号学 定例会・新年会</p> <p>1月11日(土)9:00～ 三芳町伊東農園枯れ枝拾い</p> <p>1月18日(土)9:00～ 陽子ファーム落ち葉掃き</p> <p>1月21日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>1月24日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>1月25日(土)9:00～ 三芳町伊東農園落ち葉掃き</p>	<p>13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>1月8日(水)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>1月27日(月)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>2月4日(火)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>2月21日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p>
<p>7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (茂出木 正和 2924-7533)</p> <p>1月9日(木)10:00～14:00 中央公民館調理室 新年料理講習会 所沢特産さつまいも・里芋ほかを使った料理を作り楽しく会食 講師(当サークル会員) 驚見りさん 会費 1,000円前後</p> <p>1月30日(木)13:30～ 中央公民館学習室8・9号室 市民大学30期 所沢地域史グループワーク発表「所沢・市(いち)の成立と地域性」 地域史グループの発表後に意見交換を予定</p>	<p>14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>1月7日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>1月14日(火)11:30～13:55 緑寿荘 会議室(出席自由)</p> <p>1月21日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>1月28日(火)9:00～11:25 緑寿荘 和室(出席自由) 観世流 謡曲と仕舞の稽古・練習を行います。</p>

川柳 (101) 号 作品発表 選 岡本詔笛

課題「保存」



ラブレター 遠い昔の夢のあと
この年を保存したいな 永遠に
断捨離でいつも悩ます 保存癖
無理言うな 標準体重 キープしろ
マンモスも 保存 融けたか シベリアで
思い出の 遠足 写真お炊きあげ
記憶脳捨てられも せずじっと 耐え

リンゴ好き
海ささる
突拍子
縄文人
香歩
峯声
詔笛

「自由題」

何時かしら 解き放たれて 良き自由
多くなるよ ぼよ 歩く 暮れの街
もう 師走 聞きたかった ね 秋の歌
外人で 埋め 尽くされる 観光地
しわ 増えて 弾ける 笑顔 目く します
呑み すぎ 楽しく 話す ノンアルビ
チア 舞台 元気 澆刺 歳 忘れ

海ささる
峯声
突拍子
縄文人
リンゴ好き
香歩
詔笛

次回 (第102回) 課題「故郷」そして「自由題」
締め切り... 1月20日 担当... 岡本まで、どなたでも

宛先 okamotosh@gmail.com

理事会報告

総務部長 中原幹男

12月9日(月) 18期第1回理事会を開催しました。

- 11/29 開催された定期総会の総括を行いました。(詳細は広場 12月号に掲載済)
- 新理事の役割を決定しました。
事業部 10名、広報部 1名、総務部 6名
- 期のスタートに当たり 事業部会議を開催し (12/23) 4大行事の計画を練ります。
- 「広場」編集体制を整え新風を入れていきますので 新会員の投稿を期待しています。
- 18期新入会は現在 15名。引続き入会受付中。
- 欠席された方へ郵送代節約のためサークルを通じて 総会資料をお渡ししています。お手元へ届くのが年を越してしまうかもしれないことをご了承ください。
無所属の方へは郵送済み。

編集者から

『編集者から』のコーナーは、各人大体年一回位なので大変貴重です。私は今回 1. 素直 2. 読んで楽しい 3. 自分らしいを書くことにしました。書くこと、読むこと大好きです。息子の小学校時代のPTA役員『広報』にはまってから楽しくやっています。ココに入った時、創設者の池田さんが言いました。「新井さんは若いね、まだ〇〇代？」それから「新井さんは文がうまいね」。勿論とてもステキなジョークでありお世辞だとわかっていましたが、もともとお調子者の私は、すっかりその気になり、池田さんがいるうちは是が非でもここにいてやろうと思いました。私は今月△△歳だけれど、来月1月はいよいよ□□代に突入です。心を引き締めねばと思いつつ、ますます楽しい編集委員の仕事にのめり込んでいきそうです。 新井智子：記

懐かしの映画観賞会

『喜劇 急行列車』1月21日(火) 10時~12時
出演：渥美清、小沢昭一他 お笑い映画です。
鑑賞後、新年の集い・季節の歳時記『繭玉飾り』
「荒城の月」舞。オカリナ。豪華賞品当たる。
多くの人のご参加お待ちしております。

連絡先：二上拓夫 080-1250-6151

〇会場 「西新井町会館」 一概略図一 住所：所沢市西新井町 17-33 (熊野神社境内)

